

「仙山線の魅力を語る会」

inやまでら



旧転車台：JR山寺駅

仙山線は、日本で初めて交流電化試験が行われた路線であり、その技術は昭和39年開業の東海道新幹線に活かされていることから、新幹線発祥の路線と言われています。

その歴史的背景に加え、宮城側の山岳部に架かる鉄橋、宮城と山形の県境に跨る仙山トンネル内にある信号機、山寺と作並にある旧転車台が歴史的遺構として選奨土木遺産の対象となっております。

このたび、宮城と山形の仙山線沿線地域等が連携して、選奨土木遺産の認定を目指すとともに、仙山線の魅力を再発見して、今後の地域の活性化を目的としております。

宮城側では、関山街道フォーラム協議会が主催となり、愛子と作並地区で「仙山線の魅力を語る会」を開催しており、今回の山寺開催は第3弾の開催となります。

とき：

7月28日(日)

15:00～16:40

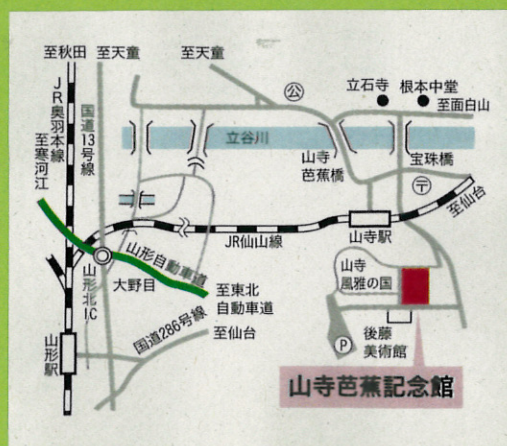
ところ：

山寺芭蕉記念館

山形市大字山寺字南院4223

TEL 023-695-2221

※山寺駅から徒歩8分



◇内容◇

講話：東北大学大学院工学研究科

後藤 光亀 准教授

座談会：元国鉄職員による当時の思い出話

※当日は鉄道模型の展示も予定しております。

主催：山寺観光協会・山寺地区文化観光推進協議会・山寺文化保存会
協力：関山街道フォーラム協議会

◇問合せ先：事務局（村山総合支庁地域振興課 TEL023-621-8354）◇